

新総合福祉・ボランティア・NPO会館(仮称)等整備事業【概要版】

1 整備理由

【新総合福祉・ボランティア・NPO会館】

福祉人材の養成、情報の提供など福祉活動に対する支援や児童・女性等に関する相談・支援といった地域福祉を推進するとともに、県民総参加による多参画社会の形成に資するボランティア・NPO活動を支援するための総合拠点を整備する。

【岡山県文書館】

現有施設は老朽化し、資料の保存・管理状態も劣悪であるため。
現有施設では、あと3～4年で収容能力が限界に達するため。

2 整備事業費

約9.2億円(県直営で行う場合)

3 整備手法

PFI手法で、既存施設(旧国立病院跡地)をリニューアルによる整備を行う。

4 リニューアルで整備を行う理由

- ・新築に比べ、約1.9億円の経費節減が図ることができる。
- ・新築した場合、多量の建築廃材を搬出するため、近隣住民等に多大な迷惑となる。また、予定地が比較的軟弱地盤であることから、現有施設の撤去、杭打ち等により地殻変動が生じる恐れがある。

5 PFI手法による削減効果

約2億円程度

6 今後の整備スケジュール

平成14～15年度	PFI事業者の選定
平成15～17年度	PFI事業の実施
平成17年度中	供用開始